

モロッコ

2020年11月6日
海外調査部・ラバト事務所

■農業部門の成長低迷によりGDP成長率が鈍化

2019年の実質GDP成長率は2.5%と、前年の3.1%を下回った。降雨量が少なかったことにより穀物生産量が減少し、農業分野で2018年の3.7%増から2019年は5.8%減と急落したことが影響した。一方、非農業分野は、4年連続でプラス成長となり、前年の2.9%増から2019年は3.8%増と好調を維持した。需要項目別では、民間最終消費支出は1.8%増となったものの、前年の3.4%増からは縮小した。政府最終消費支出は前年の2.7%増から4.7%増へと増加した。総固定資本形成は2018年の5.8%増から0.1%増へと大きく減少した。財貨・サービスの輸出は5.5%増、輸入は3.3%減だった。

■石油製品の輸入減で貿易赤字幅は縮小

2019年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比2.4%増の2,821億モロッコ・ディルハム（以下MAD）、輸入が2.0%増の4,912億MADだった。貿易赤字は2,092億MADと前年から1.5%拡大したが、前年は8.8%拡大していたため縮小傾向にあるといえる。

輸出の品目別では、ワイヤーハーネスなど電気ケーブル類（構成比12.1%）が前年比10.1%増と4年間連続して2桁台の伸び率を記録した。乗用車を中心とする自動車（11.7%）は、1.3%減となった。なお、モロッコの2019年の自動車生産は前年比0.279%増の40万3,275台だった。仏ルノーのモロッコにおける自動車生産は前年に引き続き好調で、タンジェの工場で30万3,558台、カサブランカの工場

表1 モロッコの主要品目別輸出入（通関ベース）

（単位：100万MAD、%）

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2018年		2019年			2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
電気ケーブル類 (ワイヤーハーネスを含む)	31,001	34,124	12.1	10.1	石油製品	54,318	51,390	10.5	△5.4
自動車	33,534	33,094	11.7	△1.3	自動車 (乗用車)	22,399	21,097	4.3	△5.8
衣料品	31,573	30,805	10.9	△2.4	自動車部品 (車体ほか)	17,718	18,843	3.8	6.3
リン肥料	26,400	24,485	8.7	△7.3	天然ガス	14,814	13,243	2.7	△10.6
リン酸	13,863	13,584	4.8	△2.0	電気ケーブル類 (ワイヤーハーネスを含む)	12,238	12,394	2.5	1.3
トマト (生鮮、冷蔵)	6,365	7,356	2.6	15.6	小麦	9,124	9,233	1.9	1.2
リン鉱石	8,298	7,311	2.6	△11.9	航空機部品	7,721	8,165	1.7	5.8
タコ・イカ・貝類	7,841	7,166	2.5	△8.6	石炭および石炭製品	6,986	7,763	1.6	11.1
イワシ・サバ類 (缶詰等)	5,859	5,884	2.1	0.4	穀物 (小麦を除く)	5,389	6,246	1.3	15.9
半導体デバイス	4,432	4,368	1.5	△1.4	油脂	5,795	5,344	1.1	△7.8
砂糖	1,490	1,936	0.7	29.9	輸入電力	2,302	149	0.0	△93.5
合計 (その他含む)	275,441	282,057	100.0	2.4	合計 (その他含む)	481,442	491,230	100.0	2.0

〔注〕 2018、2019年は暫定値。

〔出所〕 モロッコ為替局

で9万1,344台を含む39万4,902台に達した。輸出台数は74カ国に向けて35万1,514台を輸出した。また、仏PSAは2019年6月にケニトラに乗用車とエンジンの製造工場を開設した。9月に同工場で初の乗用車（車名208）の製造をして以降、2019年中に8,373台の乗用車を生産した。同社によると、2020年末までに年間生産能力を当初の10万台から20万台に引き上げる計画だ。

これまで主力品目であったリン肥料の輸出（構成比8.7%）は前年比7.3%減、リン酸（4.8%）は2.0%減、リン鉱石（2.6%）は11.9%減少した。国営リン公社（OCP）によると、2019年の国際肥料価格は過剰供給、原材料価格の低下、悪天候の影響により、35.0%減少した。

輸入は、石油製品が従来どおり最大の輸入品目だったが、2019年は輸入量の減少および原油価格の下落により前年比5.4%減（29.3億MAD減、構成比は11.3%から10.5%に減少）となった。

国別では、隣国スペインが例年どおり輸出入ともに最大の相手国で、フランスが次に続く。特に輸出は、スペイン、フランスの2カ国で輸出総額の50%近くを占める。スペインへの主な輸出品目は電気ケーブル類、輸入品目は石油製品、フランスへの主な輸出品目も電気ケーブル類、輸入品目は自動車だった。

表2 モロッコの主要国・地域別輸出入（通関ベース）

（単位：100万MAD、%）

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2018年	2019年				2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
スペイン	65,069	67,956	24.1	4.4	スペイン	76,111	76,412	15.6	0.4
フランス	59,825	60,855	21.6	1.7	フランス	57,266	60,029	12.2	4.8
イタリア	11,780	13,135	4.7	11.5	中国	47,285	49,857	10.1	5.4
米国	12,941	11,154	4.0	△13.8	米国	38,221	36,323	7.4	△5.0
ドイツ	8,732	9,053	3.2	3.7	イタリア	26,888	26,347	5.4	△2.0
ブラジル	7,204	8,232	2.9	14.3	トルコ	21,536	25,629	5.2	19.0
インド	10,341	8,226	2.9	△20.5	ドイツ	23,465	24,284	4.9	3.5
オランダ	6,237	7,529	2.7	20.7	ポルトガル	12,448	13,559	2.8	8.9
英国	7,801	6,998	2.5	△10.3	ロシア	16,635	13,120	2.7	△21.1
トルコ	5,550	6,142	2.2	10.7	サウジアラビア	11,053	11,782	2.4	6.6
合計（その他含む）	275,441	282,057	100.0	2.4	合計（その他含む）	481,442	491,230	100.0	2.0

〔注〕2018、2019年は暫定値。

〔出所〕モロッコ為替局

■製造業が最大の対内直接投資部門

為替局によると、2019年の対内直接投資額（報告・届け出ベース、フロー）は前年比26.4%減の339億1,600万MADだった。前年に保険部門で10億ドル超の大型買収があったことが前年比減の背景にある。業種別では、製造業が最大で111億2,380万MAD（構成比32.8%、前年比27.2%増）となり、次いで不動産が71億8,500万MAD（21.2%）でこの2業種で対内直接投資の過半を占める。

国別では、フランスがモロッコへの最大の投資国に返り咲き（2018年はアイルランドが首位）、投資額は117億8,860万MADとなった。PSAや仏ヴァレオの工場進出による投資が影響し、前年の約1.5倍の投資額となった。次いでアラブ首長国連邦が24億4,160万MADとなった。アジアに目を向けると日本からの投資額は2億3,960万MAD、中国は4億2,590万MAD、韓国は590万MADとなった。中国、韓国とも自動車部品企業の進出が目立ち、中国はCITICダイカスタル（アルミホイール製造）がケニトラのフリーゾーンに3億5,000万ユーロを投資して工場進出し、韓国はHands（アルミホイール）が

タンジェのフリーゾーンに進出した。

対外直接投資額は115億2,800万MADとなり、前年比16.1%増となった。投資先はコートジボワールが首位となり、次いでチャド、ルクセンブルク、オランダ、セネガル、フランスと続く。業種別では銀行、製造業、通信が投資総額の64.5%を占める。国内の銀行や企業がアフリカ諸国でのビジネスに関心を高めていることがうかがえる。政府は常々、モロッコが将来有望なアフリカ市場への玄関口、さらにはアフリカへの輸出と投資のハブとして優位な立地にあることを強調している。

■日・モロッコ投資協定、租税条約への署名

日本の「貿易統計」（通関ベース）によれば、2019年の対モロッコ貿易は、輸出が前年比2.0%増の1億9,877万ドル、輸入が14.4%減と大幅に減少し2億6,853万ドルだった。これにより日本は対モロッコ貿易で6,976万ドルの貿易赤字となったが、赤字幅は4,919万ドル減少した。

日本の最大輸出品目である自動車（乗用車、バス・トラック）は前年比5.1%減少したものの、構成比は29.6%を占めた。輸入品では魚介類が44.8%と大きく占め、主要貿易品目に変化はなかった。

2020年1月8日にラバトで、「日・モロッコ投資協定」および「日・モロッコ租税条約」に両国政府が署名した。それぞれの国内手続き・承認を経て発効する。日本では2020年5月13日の参院本会議で承認されたが、モロッコ国内の手続き完了が待たれる。進出日系企業数は2017年に54社、2018年に64社と推移し、2020年7月時点で71社となり、欧州市場向け、モロッコフリーゾーン内向けのビジネスを手掛ける自動車部品企業を中心に増加している。

主要経済指標

	2017年	2018年	2019年
①人口：3,559万人（2019年）			
②面積：44万6,550km ²			
③1人当たりGDP：3,204米ドル（2019年）			
④実質GDP成長率（%）	4.2	3.1	2.5
⑤消費者物価上昇率（%）	0.7	1.9	0.2
⑥失業率（%）	10.2	9.5	9.2
⑦貿易収支（100万モロッコ・ディルハム）	△174,888	△190,170	△192,414
⑧経常収支（100万モロッコ・ディルハム）	△36,342	△58,368	△47,317
⑨外貨準備高（グロス）（100万米ドル）	25,268	23,550	25,330
⑩対外債務残高（グロス）（100万モロッコ・ディルハム）	485,755	474,598	501,301
⑪為替レート（1米ドルにつき、モロッコ・ディルハム、期中平均）	9.69	9.39	9.62

〔出所〕 ①②④～⑧：モロッコ高等計画委員会、③⑨⑩：世界銀行、⑩：モロッコ経済・財政・行政改革省

（お問い合わせ先）

海外調査部 中東アフリカ課

ORH@jetro.go.jp